

令和3年度第2回豊山町地域包括支援センター運営協議会 書面開催におけるご意見及びご質問に対する回答書

議題（1）令和3年度豊山町地域包括支援センター事業進捗状況について

意見	地域介護予防活動支援事業の住民主体サロンについて、コロナ禍において、団体数・参加者数が伸びた理由について、どのような働きかけをされましたか。また、どのようなサロンが活発に活動を続けられましたか。
回答	随時チラシの配布や広報への掲載を通して住民主体サロン活動支援事業の普及を図り、新規立ち上げ支援や、既存団体の紹介等の働きかけを行っております。また、口コミをきっかけとして興味を持たれる方もいらっしゃいますので、地道な普及活動により徐々に団体数・参加者数が伸びているものと考えております。コロナ禍におきましても、それぞれの団体で工夫しながら可能な範囲で活発に活動していますが、特に、参加者層が若い団体や、毎回集まる目的が定まっている団体は、活動を継続しやすいような印象を受けています。

意見	介護予防普及啓発事業の相談会について、実施回数や参加者数の増加理由や、相談理由は何ですか。
回答	例年、町が実施する集団健診や健診結果説明会等において、保健師による介護予防や歯科衛生士による口腔機能に関する相談会を設けています。昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため集団での後期高齢者健診を中止していたため、このような相談会を実施する回数が減り、それに伴って参加者数も少なくなっていました。今年度は、例年よりもやや少なめではありますが、集団での後期高齢者健診の機会を活用して実施しておりますので、昨年度と比較すると数値上は実施回数及び参加者数ともに増加しています。相談理由としましては、介護予防や生活習慣等、健康に関することで多岐に渡ります。

意見	昨年度に引き続き、コロナ禍での事業運営となりましたが、オンライン開催にするなどできる限りの対応をされていたと思います。
回答	昨年度同様、オンライン開催等の方法を活用し事業を運営しています。今後もより安全かつ効率的な方法を取り入れながら事業運営を継続できるよう努めてまいります。

意見	高齢者福祉計画、介護保険事業計画と照らし合わせた事業評価はどのようにしていますか。
回答	新型コロナウイルス感染症の影響による実績値の変動により、事業評価を十分にできているとは言い切れないのが現状です。各計画と整合性がとれるような形で事業評価を行ってまいります。

意見	コロナ禍でも出席率も良く、包括の方々の尽力に感謝します。それに応じて、高齢者も元気に参加されていて感心します。
回答	外出や人との交流は、介護予防において重要な要素です。今後も、換気やアルコール消毒、広い面積の会場確保、人数制限、参加者の体調確認等、感染症対策を十分に行いながら、高齢者が安心して参加できるような取組みを可能な限り継続してまいります。

議題（２）令和４年度豊山町地域包括支援センター事業計画（案）について

意見	新しい事業の「トランポリン教室」は、短時間でも筋力アップにつながり体力も上がるので、期待できそうです。たくさんの参加希望があれば良いと思います。
回答	ご意見いただいたとおり、トランポリンを活用した運動は短時間でも筋力や体力の向上が期待できます。住民の方々から参加希望を頂けるよう、事業開始時は積極的に広報していきます。

意見	新しい事業を始める際は、その事業を実施するに至った経緯をご紹介してくださいとありがたいです。
回答	<p>新しい事業を実施するに至った経緯についてご紹介させていただきます。</p> <p>「トランポリン教室」は、全１２回の実施を通して自主グループ化を目指す教室です。トランポリンを活用した運動は、高齢者でも楽しみながら筋力や体力の向上が期待できます。何も形が無い状態から自主グループを発足するのは、住民の方にとっては勇気が要ることだと思われるので、その足掛かりとなればと考え、事業を計画しました。今年度は、「ヨガ&エアロビ教室」を同様の流れで実施し、参加者からご好評を頂いて自主グループ化につなげることができました。</p> <p>「生活支援コーディネーター業務委託」は、これまで地域包括支援センター職員が兼務していた生活支援コーディネーター業務を社会福祉協議会へ委託するものです。令和２年度調査によりますと、愛知県内の生活支援コーディネーターの配置先としては社会福祉協議会が約５０％と最も多く、団体ごとの特性を活かした活動が実施されています。このような傾向を踏まえ、本町におきましても令和４年度から社会福祉協議会へ業務委託する運びとなりました。</p> <p>「ウォーキングマップ配布」は、今年度完成したウォーキングマップの配布を通して、ウォーキングの習慣化・定着化を図るものです。特に令和４年度は町政施行５０周年記念事業と連動したウォーキングイベントの実施も予定しております。</p>

議題（３）令和４年度豊山町地域包括支援センター事業重点項目（案）について

意見	<p>コロナ禍において、人と人との直接のコミュニケーションがとりづらい状況が続いています。支援する側としても思うように活動できない中、安全性を考えても、トランポリン教室は良い事業だと感じます。多数の方が参加されることを願います。</p>
回答	<p>直接コミュニケーションをとることが難しい状況が続いていますが、その中でも高齢者の介護予防の活動が妨げられないよう、できる限り安全な方法を検討しながら事業を計画しております。トランポリンは短時間でも介護予防効果が期待できる道具ですので、住民の方々に興味を持っていただけるような教室にしていきたいと考えています。</p>

意見	<p>健康に興味のある方や出かけることが可能な方以外の方が、身近に気軽に行ける場所づくりが必要であると思います。私達の地域でも、公民館の活用方法を課題に、出来る範囲で取り組んでいこうと話しています。</p>
回答	<p>どのような方でも身近に気軽に行ける場所づくりは、地域包括支援センターにおきましても重要な課題の一つとして検討を重ねているところです。公民館の活用方法に関しまして、何か情報がございましたらぜひお知らせいただければと思いますので、よろしくお願いたします。</p>

意見	<p>Withコロナに向け、高齢者が安心・安全に活動を増やせるようマニュアルの作成や、小さくても良いので外出を促し交流が再開できるようなイベントを計画してはいかがでしょうか。</p>
回答	<p>高齢者が安心・安全に活動を増やせるようなマニュアルの作成につきましては、今後ご意見を頂きながら検討させていただきたいと思います。外出を促し交流が再開できるようなイベントとしましては、令和４年度に町政施行50周年記念事業と連動したウォーキングイベントを計画しております。ウォーキングは外出の習慣化につながりやすい運動方法であると考え、今年度はそれを促す媒体としてウォーキングマップを作成しました。</p>